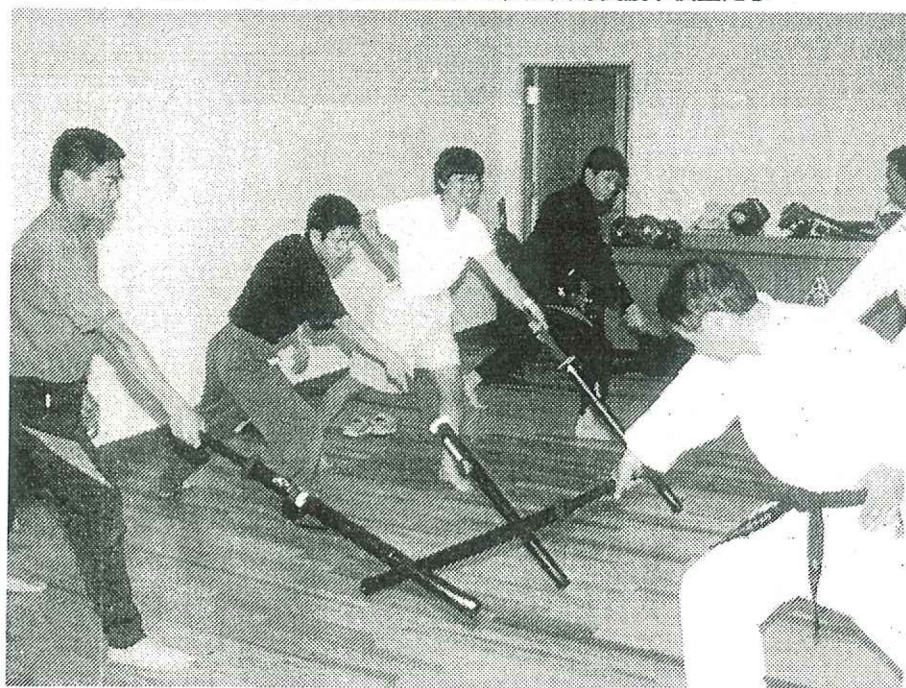


スポーツチャンバラを練習する伊達高等養護学校生たち



スポーツチャンバラ効果

昔懐かしいチャンバラをそのまま競技にした「スポーツチャンバラ」が、障害児の情操教育に役買っている。知的障害児らが学ぶ伊達市の道立伊達高等養護学校では今年四月から、正式に必修クラブ活動に取り入れたほか、各地の福祉施設でも講習会が次々と開かれている。十一月には道内で、全国で初めての障害者大会を開くことも計画されている。

いきいきい障害児

全国初、11月に大会

スポーツチャンバラは、先端的チューブにエアが入った小太刀や長剣などで、相手の体をどこでも先に打ったほうが勝ち。痛くなく、達高等養護学校にスポーツチャンバラを導入したのはそのため、「ストレス解消に

白崎研司教諭(五)。剣道ク。白崎教諭は筑波大学大学院で修士号を取得し、現在

の知的障害者施設などに出席し、講習会を開いてきた。すでに普及には身体障害者約十人のグループが発足した。

指導。白崎教諭も身銭を切つて、用具をそろえ、白らはインストラクターの資格を取得した。

今年四月からは、正式にクラブ活動の種目として認められた。部員は筋力が弱いダウン症児を含む八人。

「生徒たちは気持ちが奮揚し、いきいきしてくる。終了後も、積極的に他人に話しかけ、言葉がしゃべれない生徒も顔を紅潮させている」(白崎教諭)という。

情緒が安定

積極的行動

伊達高等養護学校

本道でも昨年から全道大会が開かれている。

北海道スポーツチャンバラ協会長で、苫小牧市の道場「元氣館」館主の渡ノ王助清さん(三三)は、一般への普及を図るばかりでなく、要請に応じて苫小牧、美唄

竹刀の構え方や足さばきを習得するのに時間がかかるため、「生徒たちが楽しめ

は、代わりのスポーツはないかと提案に響いていた。事情を知った渡ノ王さんは昨年六月から十一月まで、毎週通ってクラブ員を

は岐阜大学障害児教育実践センターの研究員や、白閉症児の教育にあたる中国・北京の研究所の名誉所長などを務める理論家。スポーツチャンバラの長所として①ストレスの発散で開放的になり、情緒安定につながる②機敏性を養える③主体的に判断、行動する力がつく④「～」などを挙げています。さらに白崎教諭は「スポーツチャンバラには、教育



北海道協会 会長 渡ノ王助清



伊達高等養護学校 白崎研司教諭

切っている。